

ゆうばえ

発行日:2024年3月1日
(2024年3月-4月号)
発行人:小川マキ
〒950-2172
新潟市西区内野上新町11810番地3
TEL 代表 (025) 264-5000
FAX (025) 261-4430
在宅ケアセンターゆうばえ内

＊
ときの話題

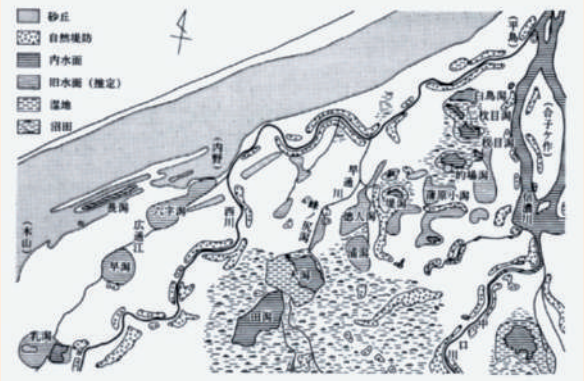
消えた潟と液状化を考える



赤塚 佐潟
歴史ガイド
太田 和宏

越後平野の成り立ちと潟

潟は、かつて数えきれないほど越後平野に存在し、私たちの近くにも鏡潟や田潟・大潟・早潟などの大きな潟がありました。そもそも、越後平野は河川から運ばれた土砂が堆積してできた「沖積平野(ちゅうせきへいや)」です。河川によって自然堤防と呼ばれる小高い丘や、砂浜の砂が波によって運ばれ堆積した「浜堤(ひんてい)」、砂浜の砂が風によって運ばれ堆積した「砂丘」



西蒲原の湖沼 出典:新潟市史
黒埼のときめき団地、山田、善久は合子ヶ作に。
新川開削以前の絵図。

などが形成されそうした過程で潟も形成されました。今の西川は、江戸時代前期までは信濃川の本流で、その時代の絵図には「信濃川」と記されており、今よりもはるかに川幅が広がったことが推測できます。

さて潟や河川などの地形条件をはじめ、集落や街道などの状況を伺う史料の一つに絵図と古地図があります。絵図は江戸時代までの地図のことを言い、これらを様々時代ごとに現在の地図と照らし合わせていくと、江戸時代のどの年代までどの場所に潟や河川があったのかを知ることができます。

現在は明治時代の地図から今の地図まで、国土地理院のホームページで閲覧することができます。またスマートフォンなどで得られるアプリもあるなど、地図情報を誰でも見て活用することができている状況になっています。

過去の地形を知ることが 今を生きる災害対策

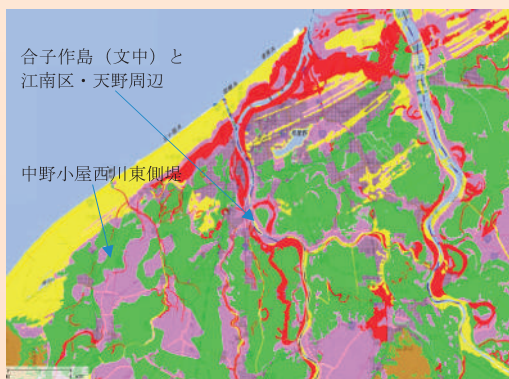
元日の地震では、西区で液状化現象による被害が多く見られました。内野から青山に向かう道沿いの被害があったところは、常に砂丘からの地下水が湧き出る場所です。また、ときめき団地や山田・善久は、かつて信濃川の河道で江戸時代の絵図にも「合子ヶ作」と記された信濃川に囲まれた所でした。

かつて潟があった所も液状化の被害が懸念されます。しかし、絵図や地図を調べるのは、労力と時間が掛かります。そこで、インターネットで北陸地方整備局のホームページから「液状化しやすさマップ」の情報を得られます。

このマップを見ても、かつて河川があった「旧河道」や潟があった所が、特に危険度が高いことがわかります。パソコンやスマートフォンなら町目が鮮明に読み取れますので、ぜひアクセスしてみてください。

一方、潟は新潟の人にとって生活面で密接な関わりがあった、身近な自然環境でもあります。潟から得られる魚や鳥などはその地域の収入源となり、また水源として利用されてきました。潟を表す方言文字まで作られるほどでした。今もある程度の年齢層の方なら分かる、「新潟の「潟」の略字」と思っている「洩」は、その方言文字なのです。

時代を経るごとに干拓や埋め立てなどが行われ、現在新潟市内では数えられる程しか残されていませんが、地域の潟(消えた潟も含めて)を知ることが、その地域における先人の生き方にも触れられる機会にもなると思います。



液状化しやすさマップ (国土交通省北陸地方整備局)
内野から続く砂丘の縁、黒埼地区ときめき団地・山田・善久は旧信濃川の旧河道、中野小屋地区西川東側堤危険度が高い

激震！ 能登半島地震 その時、私は…。

能登半島地震では、地震の揺れ、津波、そして液状化などにより甚大な被害が出ました。皆さんの声を紹介します。

備えあれば憂いなし

避難訓練が生きた地震避難活動

内野平和台自治会長 江口 実
西内野地区防火防災連合会第1地区長

突如の地震、西内野地区（10の自治会）の皆様は3避難所に、1日午後10時頃までの間に、合計890名ほどの方々が自主的に避難されました。避難所の開設は新潟市役所職員等がいち早く対応して頂き、避難所運営もスムーズと聞いています。秋の総合防災訓練が大いに生きたと思います。関係者に、紙面をお借りして感謝申し上げます。

さて石川県内の一部の自治会では、地震が頻発していたことから独自に避難訓練を繰り返していたことで、近隣者同士が声を掛け合っ、自宅の倒壊や津波が押し寄せる前に避難。被害者を一人も出さなかったとの報道がされております。

地震などの災害は、いつ起こるか誰もわかりません。多くの方々が避難訓練に参加して頂き、被害者ゼロをめざしましょう！

防災意識を高めねば！

渡辺克広 五十嵐3の町

新川河口、排水機場近くに居を構えて50年になります。元日のその時、わが家のテレビは故障中、大きな揺れで何事が起きたか、茫然としていました。すると河口の防災スピーカーからサイレンが鳴りだし、「津波が来る可能性があるので高台へ急いで避難を」と音声放送も始まりました。大津波で、家や車が流されたあの映像が頭をよぎりました。

私たち親子3人は、急いで五十嵐3の町の山の上へと車を走らせました。

西内野地区防火防災連合会による避難所区分と避難者概数

- 第一地区 区域市道98号線 内野ノ上新町沿い自治会
西コミセン（避難者350名）
 - ※①上原団地
 - ※②内野平和台自治会
 - ※③五十嵐中島
- 第二地区 新潟ノ寺泊線沿い自治会
 - ※①広通江団地自治会
 - ※②平和台第七自治会
 - ※③内野西が丘自治会
- 第三地区 新潟ノ寺泊線自治会
西高校（500名）
 - ※①内野西新町自治会
 - ※②新中浜町内会
 - ※③ひまわり団地自治会
- 第四地区 国道402号線沿線自治会
 - ※①西内野小学校（同40名）
 - ※②内野上新町自治会

ました。しかし既に道路は渋滞、カーラジオで情報を集めつつ、車中避難を決めました。

思えば新潟地震、中越地震、中越沖地震、東日本大地震、そして今回の能登半島地震と70年余の私の人生で、大きな地震は5回経験したことになります。しかしやはり防災意識は薄いといわなければなりません。

それは①いざという時の家族内での決め事がない。②防災グッズに至っては期限切れの食糧、トイレ・水・軍手のみという有様に示されています。車中避難の中で、幼い子供たちの手を引く若いパパ・ママの姿を目にしました。子供たちはお揃いの防災リュックを担いで真剣な眼差し。彼我の差に愕然としました。

最後に新川河口を遡上する津波に対する対策について、地域あげて考える時だと思います。話し合いは簡単ではないですが、生き残る術は、それしかないような気がします。

ご近所さんと一緒に心強かったあ！

小川マキ 新中浜

午後4時10分、私は平和台団地の坂道を下りていました。Jアラートと同時に電線が唸りだし、地面も動いたように見えました。その収まりを待って、自宅に向かわず避難場所になっているコミセンに行き、解錠と同時に入っていただききました。ご近所のIさんW

さん夫婦もほぼ同時着で、コミセンではずっと一緒にスマホからの情報なども聞かせていただいていた。6時半頃4人揃って家路につきました。

Wさんは避難にあたり、独居のIさんに声がけをされたそう。既にIさんはスタート済みでしたが、その気持ちが有難いですね。

大地震を契機に

地域の防災訓練に参加しよう

小西良子 五十嵐中島 防災士

このたび発生した令和6年能登半島地震により被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。また亡くなられた方・ご遺族へお悔やみ申し上げます。

私は、地域のハザードマップを見たことがあったので、今回懸念された「津波」について大体の予想がつかまりました。しかし、事前に得ている情報だけでは十分ではなく、時として予想しないことが起こります。今回は「大丈夫」であって、次回は「わかりません」。これが災害です。

皆さん、今年は地域、防災の事を知る機会持ちませんか？防災イベント、そして地域の防災訓練に参加して一緒に学びましょう！

避難所でのエピソードを一つ。ご高齢の方が「若い方におんぶしてもらい4階まで行った。ありがたかった」と。互いを思いやり助け合う、特に非日常だからこそ心温まりました。



「うどん鍋」

五十嵐中島四丁目 佐久間則子

材料

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 調味料 | ・水 | 2リットル |
| | ・塩 | 大さじ1と小さじ1/2 |
| | ・酒 | 大さじ1 |
| | ・みりん | 大さじ1 |
| | ・しょうゆ | 大さじ1と小さじ1 |
| | ・油揚げ | 3枚 |
| | ・豚三枚肉 | 200グラム |
| | ・ちくわ | 1袋 |
| | ・生シイタケ | 1パック |
| | ・シメジ | 1パック |
| ・白ネギ | 4～5本 | |
| ・もやし | 1袋 | |
| ・春菊 | 1袋 | |
| ・ゆでうどん | 5袋～7袋 | |

作り方

- 鍋に水を入れ調味料を加える。
 - 材料を鍋に入れ、最後にうどんと春菊を入れる。
 - 食べていると煮詰まるので、途中で水を足す。
- ※ほっと温まりたい時におすすめの「うどん鍋」。
これ一つで野菜やお肉、炭水化物も取れます。まさにお手軽、ヘルシー、栄養満点のうどん鍋です。
お家の冷蔵庫にある具材を、いろいろと試してみましょう。「〇〇家のオリジナルうどん鍋」も楽しそう。
ボリューム満点で大満足の一品、お試しください。
最初に味をつけるので作るのが簡単です。煮詰まったらその都度お水を差してください。

地域の声・話題コーナー

お元気会の予定

3月

- とき 3月7日(木) 10:00~11:30
ところ 西コミセン
内容 お楽しみ会と茶話会

4月

- とき 4月11日(木) 10:00~11:30
集合 西コミセンのホール
内容 ウォーキング&観桜会
(西が丘団地の桜と芝桜)

緊急学習会 2月16日(金) 小針青山公民館

能登半島地震が教えてくれるもの

講師 大野隆一郎(新潟10万年を考える会)

資源エネルギー庁は、核のゴミを300m以深に地層処分(埋設)するための適地を「科学的特性マップ」(2017年)として公表しました。

核のゴミの放射線量が自然状態までに減少するのに必要な年数は10万年と言われていることから、地質を専門とする教師らで、科学的特性マップの真偽を明らかにすることを目的に作られたのが、「新潟10万年を考える会」です。

さて、能登半島地震は私たちに何を教えてくれているのか、大変興味あるお話でした。

能登半島地震は半島直下16km前後の岩盤が佐渡沖まで150kmにわたって破壊されました。

半島の西部では最大4mも隆起し、それまで海であった海岸が、最大240m陸地になってしまいました。

志賀原発は休止中でしたが、変圧器からの大量の油漏れがありました。「大地は動く、どうする原発?」「このことが、私たちに突きつけられています」とお話して下さいました。



健康クラブ代表 鈴木教子

五十嵐二の町自治会では、高齢者の有志が回覧で町内に呼びかけて、介護予防体操を行っています。これは、転倒予防・筋力維持・認知機能低下予防を目的として、毎日元気で!を合言葉に、大型スクリーンに映し出されたビデオを見ながら体操を行うものです。現在は、60歳代から80歳代の10数人が参加し、参加者自身がビデオをセットし、毎週水曜日の午前中に自治会館で行っています。体操終了後は体力だけでなく頭脳の衰えを防止するため、しりとりゲーム等を行い、継続は力なり、をモットーに、有意義な1時間余を過ごしています。

団体さん ひろっしや~ん

ビデオを見ながら
介護予防体操!

高齢者に学ぶ伝統食づくり

第十六回 恵方巻作り



グループホーム 長島 裕子

節分に入居者様と恵方巻作りを行いました。恵方巻のルーツとしては、諸説あるようですが、巻き寿司にすることで「福を巻き込む」食物とされているようです。願いを込め、最後まで黙々と食べるのが一般的な食べ方です。恵方巻は七種類の具材を入れるのが一般的で、縁起がいいとされる「七福神」が由来と言われています。

今回は外側に巻く海苔は飲み込みが不安な方も見られるため、薄焼き卵 青のり粉 白ゴマを使って巻きました。中身は入居者様のリクエストにより、カニカマ・でんぶ・胡瓜・卵・ひきわり納豆・シーチキンとしました。

巻きすにラップと薄焼き卵や青のり粉を敷き、その上に酢飯を平らに伸ばし「これもいいわね」「私 はでんぶ」と楽しそうに入居者様が具材を乗せられていました。くるくると巻いていくとご飯が薄い所があったり、具材が飛び出てき



たり、と出来栄えは様々でしたが、色合いのいい美味しそうな巻き寿司が出来上がりました。ある入居者様が「出来栄えなんていいのよ、上手に作るとうことよりも、どれだけ心を込めたかよ」と話され、それを聞いていた私は思わず心の中で「さすがこれは星三つです」と思った次第です。今では具材を食べやすい物に変え、家族でも簡単に作ることができ、お友だちなどとも楽しんで作ることができるとおもいます。「恵方巻」の本来の意味など、受け継いできた文化伝統を今一度再確認し、次の世代へ伝えていきたいですね。

能登半島地震・西川堤防の甚大な被害

建物が倒壊するなど、局所的に甚大な被害が出た中野小屋地区の西川沿いです。画面上側は中野小屋本村の波打ったコンクリート護岸の様子です。こちら側は対岸の道河原地区の堤防です。長さ160mにわたって、堤防に地割れが起きました。割れの深さは最大で1mほどです。ここも液化化しやすさマップで危険の赤色がマークされていました。いにしえの西川は大河。幾度も洪水が起き自然堤防ができ、人が住み始めた。故郷の歴史を知らねば！



編集後記

元日の地震で、正月らしい新年はどこかへ吹き飛んで早や三月、弥生の候。初詣は例年通りに行きたのに「神も仏もないな」とボヤキが出ました。いつもなら動き出す木々の芽を追いかけたり、土手にフキノトウを探して春を実感したりするこの頃、今年はどうも勝手が違います。必要以上に焦ってみたい、かといって次の仕事に迫っていても中々手につかなかったり。落ち着かない日々、その日暮らしの日々。編集氏は、この度の地震で、生まれて初めて罹災証明書を手にしました。結果は「一部損壊」。わが家が今回の地震で被った被害の程度は、軽くて済んだという事です。大袈裟ですが、日々の暮らしを立て直さなければと思います。今年一年の目標を決め、一歩一歩進みたいと思います。お盆にはヨチヨチ歩きの初孫1人と子供たちとの再会を果たしたいと思えます。その頃までには、傷んだクロス壁は綺麗に貼り替えて、彼らを迎えてやりたい。古希を迎える親の願いです。(M記)

Information

ゆうばえ新聞 通信員大募集

待ちに待った弥生・三月。まだ少々肌寒い日もありますが、うきうきと心弾む春の到来です。ツクシンボウやフキノトウはもう見つけられましたか？

お住いの地域のとおき情報をお知らせください。

編集責任者 高橋 実

電話 025-264-5000 ゆうえい会

携帯 090-2661-8249

メール takahashi_m@niigata-min.or.jp

【配食事業部】 070-4453-5228 (小島)

見守りとあわせて食の確保をお手伝いさせていただきます。込み合っていますので、利用日のご相談をさせていただきます。

【生活支援】 070-4314-3980 (神立)

夕映えの会の助け合い活動で、草取りやお買いもの・お出かけ等の移動支援を行なっています。お気軽にご相談下さい。